





## 観察内容

みなさんは「アリジゴク」という生き物を知っていますか？アリジゴクは地味であまり目立たない昆虫ですが、じっくり観察してみると実に見事な体のつくりをしています。それに、“砂の魔術師”とも呼ばれる彼らの生活ぶりは、いつまで見ていても飽きないくらいエキサイティングで面白いものです。

今日の自然観察会ではそんなアリジゴクの生活を、そっとのぞいてみることにしましょう。きっとみなさんは、アリジゴクは自然の細かいしくみを理解するのにぴったりの生き物であることに、そして、私たちを豊かな生物たちが織りなす自然の劇場へと誘うナビゲーターであることに気づくことでしょう。



## 観察コース

「青葉の森管理センター」は建設されてから7年目になる建物です。その床下には砂がまかれており、アリジゴクはそんな環境がすっかりお気に入り。今ではこの場所は“アリジゴクの楽園”の様相を呈しています。砂場にはアリジゴクの巣がたくさんあるので、靴で踏みつけないように気をつけながら観察してみてくださいね。



## 行動予定

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00
レクチャー室	ガイダンス	(標本等の展示)	(標本等の展示)	まとめ	
屋外		(1) ~ (2)	(3) ~ (6)		



## 用意するもの

・茶こし、スプーン、ミル瓶、ペンライト、ピンセット

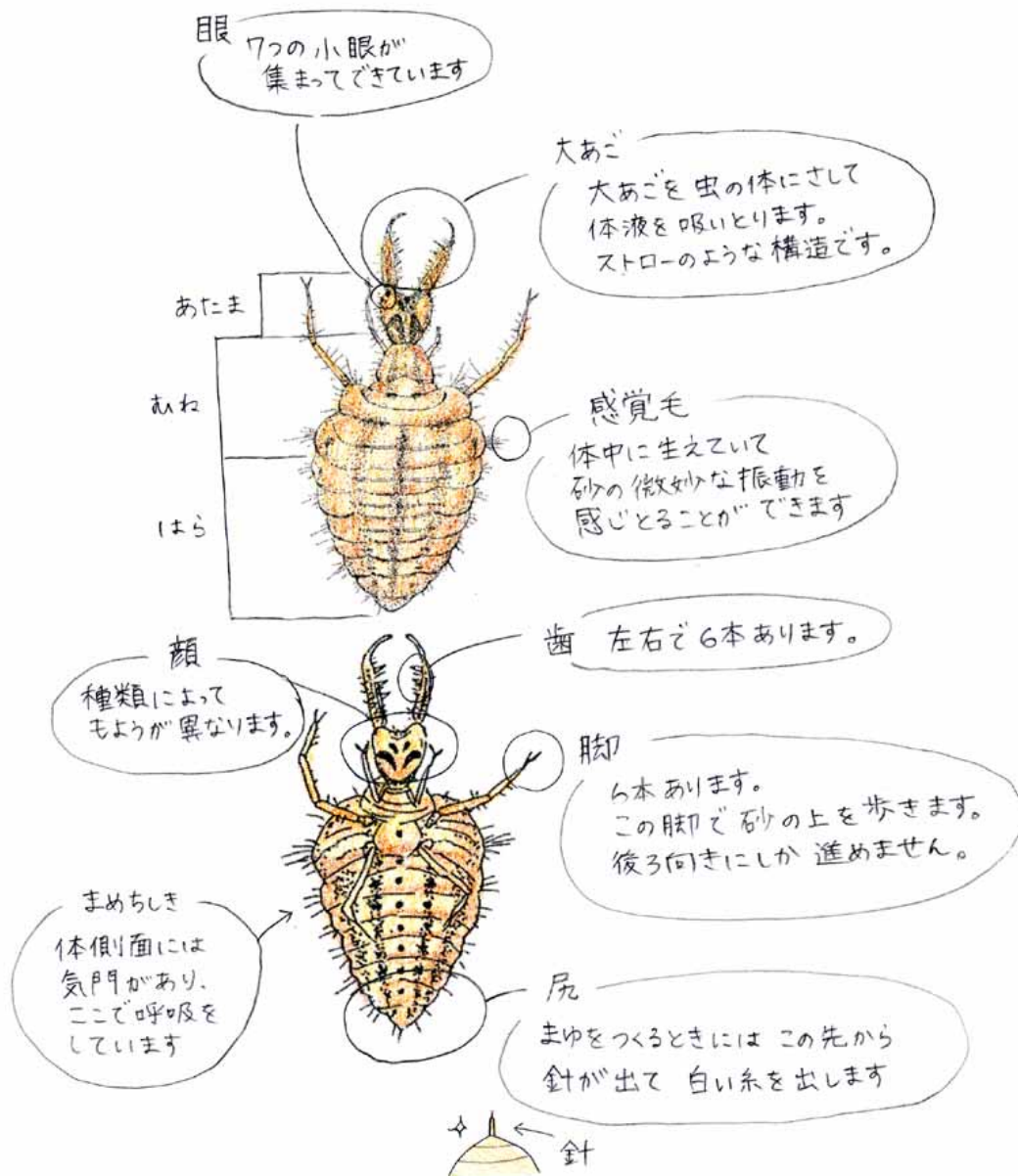




## アリジゴクの調べ方

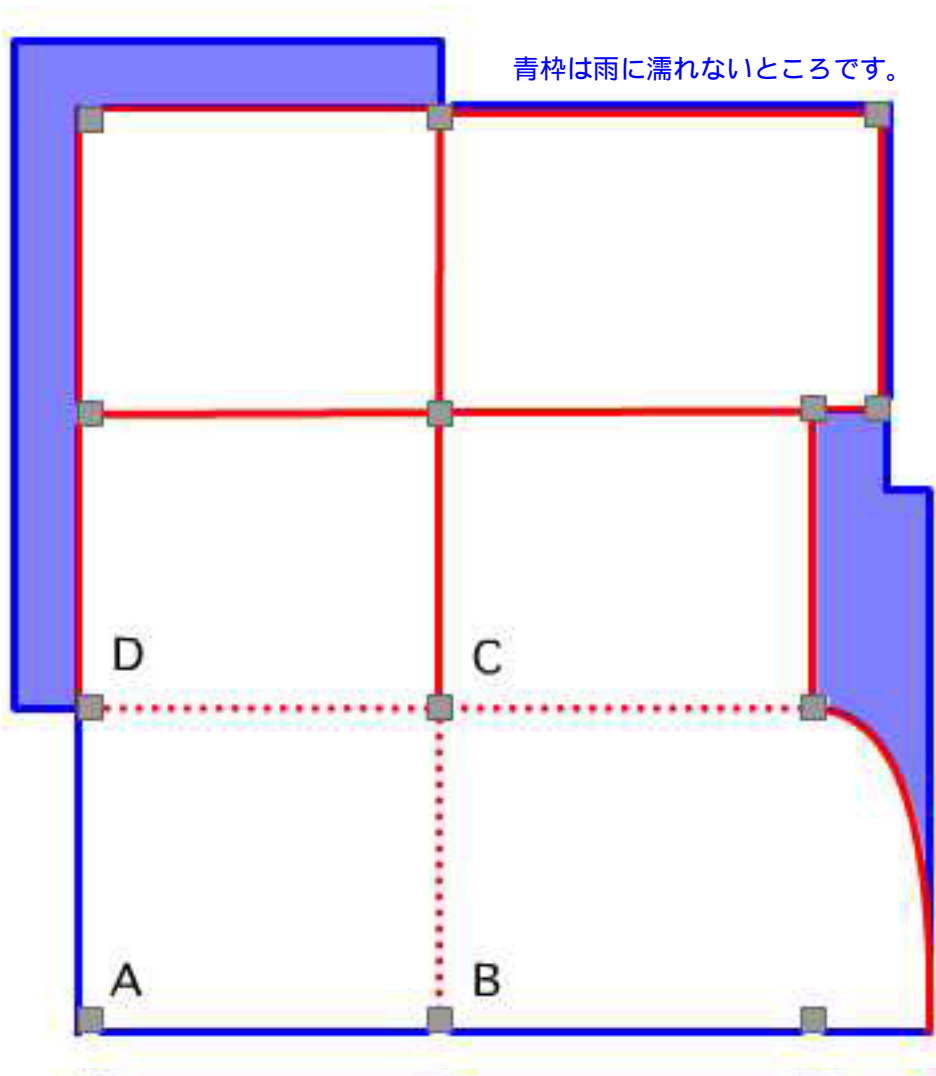
アリジゴクの「体のつくり」をしらべよう！

(1)アリジゴクをミルビンに入れて、体のつくりをじっくり観察してみよう。



巣穴の分布をしらべよう

(2) アリジゴクの巣穴はどんな場所に多く見られるかな? 「青葉の森管理センター」の建物見取り図に、巣穴がたくさんある場所をチェックしてみよう。



オオスズメバチ  
にご注意あれ!

(床下の見取り図)



アリジゴクが移動した道が砂の上に残されているのがわかりますか? アリジゴクは何のために移動しているのかな?



森の中ではアリジゴクはどんな場所に巣穴をつくるのかな? アリジゴクが住みやすい環境をイメージしながら、自分で探してみてね。



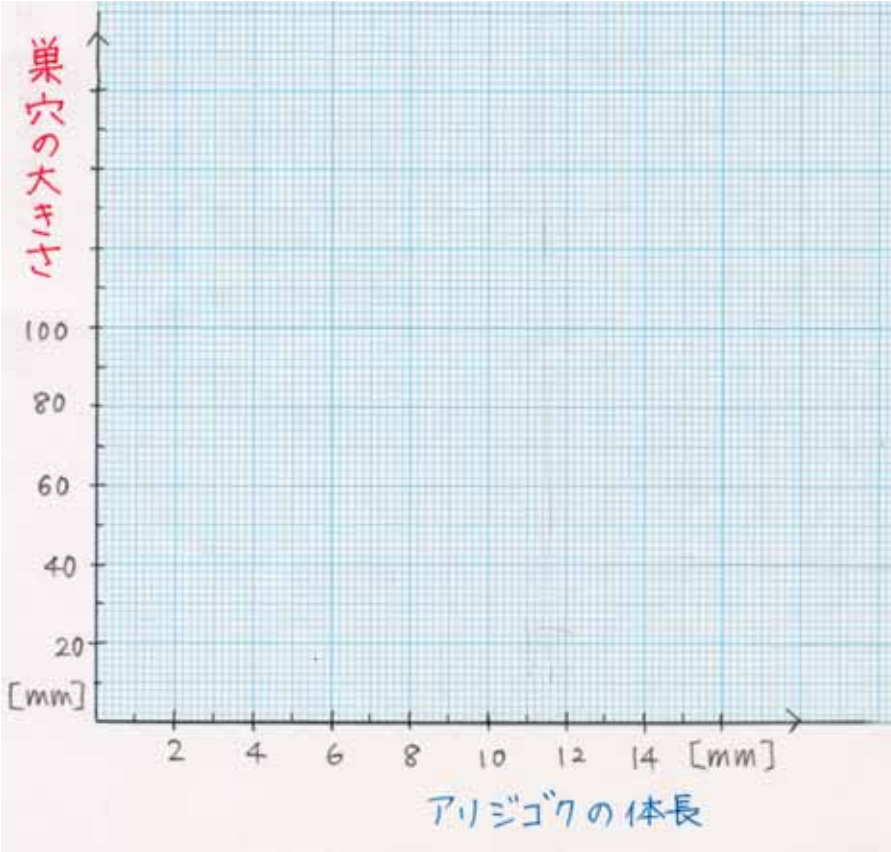
ここを巣穴にあてて直径をはかってみよう

「巣穴の大きさ」と「アリジゴクの体長」との関係をしらべよう

(3) 巣穴の大きさ(直径)とアリジゴクの体長には相関が見られるでしょうか? それぞれを計測してしらべてみよう。簡単なグラフを作成することによって、その関係を把握することができます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
巣穴の直径 (mm)										
アリジゴクの体長 (mm)										

上の表の数値をグラフにプロットしてみましょう。

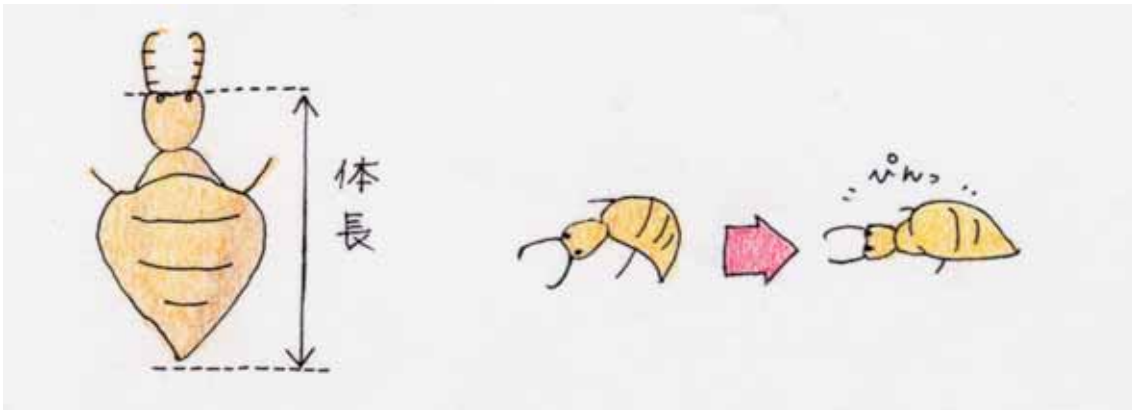


アリジゴクの体長は、この上に乗せて測るとわかりやすいですよ。

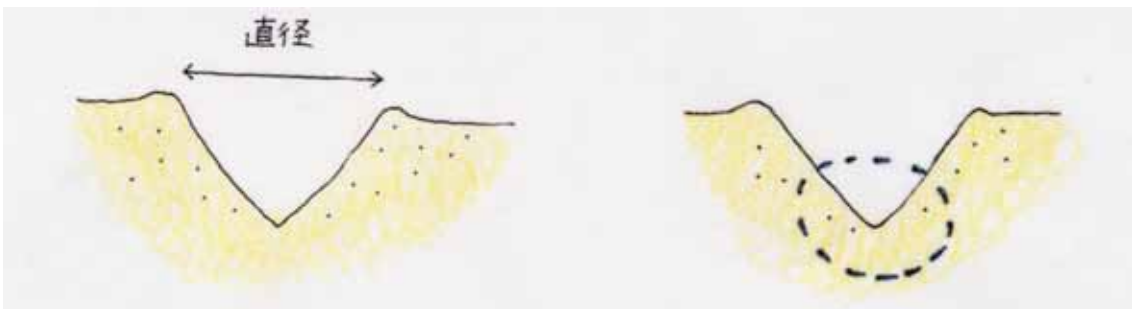


### 計測時の留意点

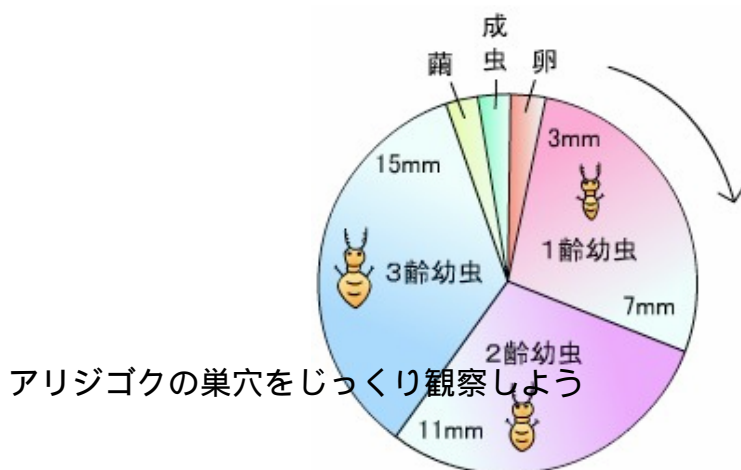
体長は、キバを含めずに、頭からお尻の先までを測ります。アリジゴクの体が丸まっている場合は、伸ばしてあげてから測りましょう。



巣穴の直径は土が盛り上がっているところまでを計測してください。アリジゴクはすり鉢の底にすることが多いです。そっとスプーンですくいあげてみましょう（計測が終わったら元の巣穴に戻してねっ！）



アリジゴクは成虫になるまで3年かかります。そのため、今の時期は、1齢幼虫（主に'04年生まれ）、2齢幼虫（主に'03年生まれ）、3齢幼虫（主に'02年生まれ）を見ることができます。それぞれの齢の幼虫のおおよその体長は以下のとおりです。

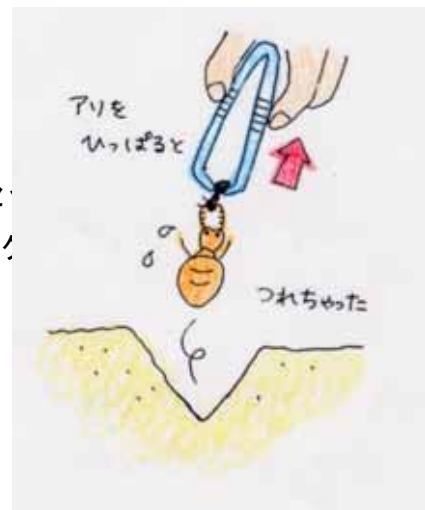


(4)アリジゴクは何を食べているのかな？巣穴の周辺にそのヒントがかくされているから、目をこらして探してみてね。



(5)アリジゴクはどのようにしてエサを捕まえ、食べているのかな？アリを巣穴の中に入れて観察してみよう。ミルビンのふた(ループの部分)をはずして使うとよく見えるよ。

アリジゴクが食べているエサをピンセットでそーっと持ち上げてみると、アリジゴクが食べているエサがわかることも・・・。



(6)穴の内側と外側では、砂粒の大きさに違いがみられるかな？両面テープを利用してしらべてみよう。もし違っているとすれば、それはなぜかな？

内側

巣穴の内側

外側

巣穴の外側

外側 内側 外側



考えてみよう！

これからも私たちの身近な場所でアリジゴクたちが生きていくためには、どんな環境の条件が必要だと思いますか？



ヒント：アリジゴクの「食事」と「住まい」について考えてみるといいよ。「幼虫（＝アリジゴク）」と「成虫（＝ウスバカゲロウ）」でも食事や住まいは違っているから、答えるのは少し難しいかなア……。でも、がんばってトライしてみてね！



### フィールドマナー

- ・アリジゴクの巣は踏まないように注意してね！
- ・アリジゴクは持ちかえらないでね！



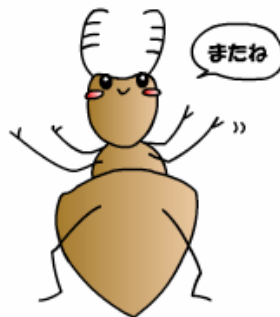
### もっとアリジゴクのことを知りたい人は・・・

(1) 私たちスタッフが作成した Web コンテンツ「アリジゴ区 3 丁目」を見てみよう。

<http://mizotalab.miyakyo-u.ac.jp/Mizotalab/antlion/>

(2) 下に紹介する本を読んでみよう。

- ・松良 俊明 (2000) 『砂の魔術師アリジゴク』(中央公論新社 / 819 円)
- ・小田 英智 (2004) 『アリジゴク観察事典』(偕成社 / 2,520 円)



アンケートにもご協力ください

<http://mizotalab.miyakyo-u.ac.jp/Mizotalab/antlion/ankate>

名前：